

撮影箇所一覧表

区分	工種	番号	撮影項目	撮影位置	撮影頻度	撮影上の注意事項	摘要
管 工	管 布 設 工	1	着工前	全景	40m 毎又は横断図箇所	測点、周囲の地形、地物等を背景に入れる等、写真の中で位置がわかるようにする。	<p>あらかじめ設計図に 40m ごとの横断図がある場合は、その横断箇所とする。</p> <p>設計図に表示のない場合は、現地 20m ピッチに測点を表示し、偶数又は奇数の測点で撮影する。なお、変化点も撮影すること。</p> <p>着工前から完成まで（項目別の検測写真も含む）の写真を同一箇所及び同一方向で撮影する。</p> <p>布設管が他の埋設物（上水の既設管、ガス、NTT 等）と交差、又は平行して埋設されている箇所は位置・隣隔は判明できるよう寸法等を黒板に記入し撮影すること。</p>
		2	舗装版切断状況	全景	適時		
		3	舗装版取壊し状況	全景	40m 毎又は横断図箇所		
			ガラ積込み状況	全景	適時	使用機種（バックホウ、ダンプ等）の組み合わせが確認できるようにする。	
		4	床掘状況（機械・人力）	全景	40m 毎又は横断図箇所		
			残土積込み状況	全景	適時	使用機種（バックホウ、ダンプ等）の組み合わせが確認できるようにする。	
			床掘検測（深さ・幅）	全景	40m 毎又は横断図箇所	箱尺等を入れ、深さ・幅が判断できるようにする。なお、撮影地点の箱尺の読みと黒板の内容に違いがないか確認してから撮影する。	
		5	配管状況（据付状況）	全景	適時		
			継手接合状況	全景	40m 毎又は横断図箇所	継手チェック状況、トルクレンチ締付状況が確認できるよう撮影する。	
			年号表示テープ完了	全景	40m 毎又は横断図箇所		
			ポリエチレンスリーブ巻完了	全景	40m 毎又は横断図箇所		
			配管検測（土被り・寄り）	全景	40m 毎又は横断図箇所	管中心に箱尺を立て、その中心より道路端（官民境界等）までの寸法が判断できるよう箱尺等を横に添えて撮影する。	
			切管	全景	全箇所		
			異形管（分岐部・管末）	全景	全箇所	土被り・寄り等が確認できるように曲り始めと終りを撮影する。	
		6	保護砂埋戻し状況（突き固め）	全景	適時		
			保護砂埋戻し検測（厚さ）	全景	40m 毎又は横断図箇所	埋戻し完了後、局部的に掘り返して管を露出させて検測する。	
			埋設標識シート布設完了	全景	40m 毎又は横断図箇所	砕石埋戻し 1 層目完了後、設置すること。	
			砕石埋戻し転圧状況（各層）	全景	40m 毎又は横断図箇所	ある程度、転圧が完了してから撮影する。何層目の転圧か黒板に記入。	
			砕石埋戻し転圧検測（各層）	全景	40m 毎又は横断図箇所	転圧が完了してから撮影する。何層目の転圧か黒板に記入。	
		7	路盤転圧状況	全景	40m 毎又は横断図箇所		
			舗装厚検測	全景	40m 毎又は横断図箇所	既存路面に定規（あて木）等をおき、箱尺を立て厚さを撮影する。	
			舗装転圧状況	全景	適時		
			舗装仮復旧工 完了	全景	40m 毎又は横断図箇所		
		8	完成	全景	40m 毎又は横断図箇所	給水管布設工（引込替）完成後に撮影する。	

区分	工種	番号	撮影項目	撮影位置	撮影頻度	撮影上の注意事項	摘要	
付属施設	管布設工	1	弁栓類（仕切弁・消火栓・空気弁）					
			弁栓類設置完了	全景	全箇所	埋戻し前に設置された全体を撮影する。		
			弁栓室（BOX）設置完了	全景	全箇所	設置完了後、箱尺をたてブロックの組合せ及び高さを黒板に記入する。		
		2	排水設備（ドレン）					
			配管完了	全景	全箇所			
			吐出し口完了	全景	全箇所			
特殊工法	割不T断字水管弁	使用材料	全景	全箇所	材料のメーカー名、名称、規格、口径等を黒板に記入する。			
		取付状況	全景	全箇所				
		穿孔状況	全景	全箇所				
		設置完了（土被り・寄り）	全景	全箇所				
その他	撤去工	管撤去状況	全景	全箇所				
		弁栓類撤去状況	全景	全箇所				
		弁栓室（BOX）撤去状況	全景	全箇所				
品質管理	水圧試験	本管	全・近	全箇所				
		割T字管・不断水弁	全・近	全箇所				

※ 給水管布設工については、給水装置工事基準によること。